

令和4年度

昭島市立富士見丘小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ よく考える子ども</li> <li>○ けんこうな子ども</li> <li>○ すすんで働く子ども</li> <li>◎ 思いやりのある子ども</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【目指す学校像】</li> <li>【目指す児童・生徒像】</li> <li>【目指す教師像】</li> </ul>	職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校
			未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為に尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供
			児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に應ずることなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	自ら学びに向かい、創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く子の育成	主体的に学びに向かう力の涵養とともに、学習習慣の確立	「学びのすすめ」「自主学習ノート」「寺子屋」の推進等、授業と家庭学習との連携強化	4   寺子屋…実施回数90%以上 3   寺子屋…実施回数80%以上 2   寺子屋…実施回数70%以上 1   寺子屋…実施回数70%未満	4	4   学年×10分の家庭学習…90%以上 3   学年×10分の家庭学習…80%以上 2   学年×10分の家庭学習…70%以上 1   学年×10分の家庭学習…70%未満	3	○推進プラン全面改定 ●学びのすすめの定着	ふじみ寺子屋などで児童のやる気を引き出す指導をしている。	A	[自主学習ノート]を[学びのすすめ]活用の核として、学習習慣を定着させる。	
			生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得	UDやICT、授業スタイルやノートの統一、板書や発問の工夫等、効果的な学習指導	4   教科でのICT活用…90%以上の授業 3   教科でのICT活用…80%以上の授業 2   教科でのICT活用…70%以上の授業 1   教科でのICT活用…70%未満の授業	4	4   診断シート正答数半数未満…10%未満 3   診断シート正答数半数未満…20%未満 2   診断シート正答数半数未満…30%未満 1   診断シート正答数半数未満…30%以上	3	○タブレットの有効活用 ●モジュールの充実	大型画面の活用と会話形式で授業の進め方が分かりやすい。	A	[モジュール授業]など、柔軟な教育課程で分かりやすい授業を展開する。
			未知の課題に納得解を導き、新たな価値を創造する力の育成	「探求ノート」を活用した課題解決等、自ら考え判断し表現する学習と深い学びの重視	4   探求ノートの活用…年20回以上 3   探求ノートの活用…年10回以上 2   探求ノートの活用…年5回以上 1   探求ノートの活用…年5回未満	3	4   探究的に学ぶ…90%以上の児童 3   探究的に学ぶ…80%以上の児童 2   探究的に学ぶ…70%以上の児童 1   探究的に学ぶ…70%未満の児童	3	○学習意欲習慣の向上 ●探究ノート有効活用	自分で考え表現する力を習得できる指導を進めてほしい。	B	[探究ノート]を計画的に活用し、学習成果を[学習発表会]で表現する。
豊かな心	認知機能を高め、自分も他の人も尊重し、敬意をもって大切にできる心豊かな子の育成	個性を生かし、相互の信頼関係を深め、自己有用感の醸成	「h-QU」の結果を生かした児童集会や縦割り班活動等、異年齢集団の活動の推進	4   異学年活動…実施率90%以上 3   異学年活動…実施率80%以上 2   異学年活動…実施率70%以上 1   異学年活動…実施率70%未満	4	4   社会通念上のいじめ…0~5件 3   社会通念上のいじめ…6~15件 2   社会通念上のいじめ…16~30件 1   社会通念上のいじめ…31件以上	4	○穏やかな学校生活 ●自己肯定感の向上	他者との関係の中での自己を教員が模範と明示している。	A	ふれあい月間の「命の授業」、QUの活用など、豊かな関係性を醸成する。	
			認知機能を高め、自他共に敬意をもって関係する力の育成	「コグトレ」や学級活動の工夫による認知機能や感情統制、やり抜く力等の重視	4   コグトレ…実施率90%以上 3   コグトレ…実施率80%以上 2   コグトレ…実施率70%以上 1   コグトレ…実施率70%未満	4	4   意欲的コグトレ…90%以上の児童 3   意欲的コグトレ…80%以上の児童 2   意欲的コグトレ…70%以上の児童 1   意欲的コグトレ…70%未満の児童	3	○対人スキルが向上 ●QUのさらなる活用	学級の中で子供たちの良い関係が築かれていて仲が良い。	B	[コグトレ]で社会性を育てる認知-感情統制-対人スキルを等育成する。
			自他を大切にし、よく生きる、内面に根ざした道徳性の涵養	問題解決的あるいは体験を通じた発問構成の工夫、広い視野で考え議論する道徳	4   考え議論する道徳…実施率90%以上 3   考え議論する道徳…実施率80%以上 2   考え議論する道徳…実施率70%以上 1   考え議論する道徳…実施率70%未満	4	4   自分事として考える…80%以上の児童 3   自分事として考える…70%以上の児童 2   自分事として考える…60%以上の児童 1   自分事として考える…60%未満の児童	4	○自他を認め合う意識 ●人権感覚の向上	教員の受容的・共感的な姿勢が良きモデルとなっている。	B	[考え議論する道徳]の授業展開、[人権集会]などで豊かな心を育成する。
健やかな体	基本的な生活習慣を身に付け、運動に親しみ、心身共に健康で活力に満ちた子の育成	新しい生活様式に基づき、人の命を守る意識と行動力の育成	「グットモーニング60分」等、家庭との協働を強化し、感染防止と新しい生活様式の定着	4   健康観察表未記入…1日平均0~2人 3   健康観察表未記入…1日平均3~5人 2   健康観察表未記入…1日平均6~9人 1   健康観察表未記入…1日平均10人以上	3	4   病欠児童…1日の平均0~3人 3   病欠児童…1日の平均4~7人 2   病欠児童…1日の平均8~11人 1   病欠児童…1日の平均12人以上	4	○感染防止の徹底 ●食育の計画的推進	子供たちが生き生きと活動できるメリハリある対策をしている。	B	[お弁当の日]を中心に、家庭と連携して食育、健康教育に努める。	
			基礎的な体力の向上と生涯に渡り運動に親しむ資質能力の向上	「元気アップガイドブック」を活用した運動習慣につながる授業の工夫、家庭との連携協力	4   元気アップの取組…18項目以上 3   元気アップの取組…14項目以上 2   元気アップの取組…10項目以上 1   元気アップの取組…10項目未満	3	4   運動することが楽しい…90%以上の児童 3   運動することが楽しい…80%以上の児童 2   運動することが楽しい…70%以上の児童 1   運動することが楽しい…70%未満の児童	3	○運動習慣が改善 ●元気UP活用充実	多くの教員が駅伝に参加するなど運動の楽しさを伝えている。	B	元気アップガイドブックを活用した「元気アップタイム」を拡大・充実させる。
			様々な欲求やストレス等に対して、適切に対処できる力の醸成	自殺防止授業の他、全学年で「SOSカード」を活用した多様な対処方法を推進	4   相談できる3人記入…児童の90%以上 3   相談できる3人記入…児童の80%以上 2   相談できる3人記入…児童の70%以上 1   相談できる3人記入…児童の70%未満	4	4   大人に相談できる…90%以上の児童 3   大人に相談できる…80%以上の児童 2   大人に相談できる…70%以上の児童 1   大人に相談できる…70%未満の児童	3	○ストレスゼロ学校生活 ●不登校ゼロを目指す	ストレスとは何かを理解していることと対応は難しいと思う。	C	[家庭と連携した情報モラル教育]など、適切に対処できる力を育成する。
輝く未来	未知の課題を思索し、新たな価値観や行動を生み出し、協働して未来を創造する子の育成	言語能力とともに、未知の課題に向き合い思索する力の育成	学校図書館に学習・情報センター機能をもたせ、全教育課程で言語活動を充実	4   図書館機能を活用…全学級月4回以上 3   図書館機能を活用…全学級月3回 2   図書館機能を活用…全学級月2回 1   図書館機能を活用…全学級月1回以下	4	4   読書好感度…80%以上の児童 3   読書好感度…70%以上の児童 2   読書好感度…60%以上の児童 1   読書好感度…60%未満の児童	4	○図書館の活用充実 ●総合学習の単元開発	図書館の利用度が高く、言語メソッドを用いた学ぶ場がある。	A	図書館活用で言語力を鍛え、[読書感想文]や[調べ学習]を深める。	
			情報活用能力とともに、新たな解を創造する力の醸成	1人1台の端末やオンラインの活用など、見方・考え方を働かせながら思索する場の充実	4   タブレットの活用…全学級週10回以上 3   タブレットの活用…全学級週6~9回 2   タブレットの活用…全学級週3~5回 1   タブレットの活用…全学級週3回未満	4	4   保護者評価…概ね満足80%以上 3   保護者評価…概ね満足80%以上 2   保護者評価…概ね満足70%以上 1   保護者評価…概ね満足70%未満	4	○自分の言葉で表現	情報を得る手段や情報のやり取り、通信技術を学んでいる。	A	[SDGs]を踏まえた見方・考え方を働かせる[短作文]などで、思索力を養う。
			多様な文化を尊重し、世界の人々と協調し活躍できる人材に育成	キャリアパスポートの活用等、家庭や地域と連携・協働した自己実現への手立ての充実	4   キャリア・パスポート記入…児童の90%以上 3   キャリア・パスポート記入…児童の80%以上 2   キャリア・パスポート記入…児童の70%以上 1   キャリア・パスポート記入…児童の70%未満	3	4   自分事として思考…80%以上の児童 3   自分事として思考…70%以上の児童 2   自分事として思考…60%以上の児童 1   自分事として思考…60%未満の児童	2	○縦割り班活動の充実 ●世界を見据えた教育	異なる文化・言語・価値に触れる機会を増やしてほしい。	D	[SDGs]を踏まえた[思索コン]などで、未知の課題に対峙する力を育成する。